

第1学年 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

期 日：平成26年12月12日（金）
指導者：隠岐の島町立西郷中学校
岡本 和宏

1 題材名 「食品の特徴や品質を見分け、用途に応じて食品を選ぼう」B（2）ウ

2 題材の目標

- ・食品の選び方について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。
【生活や技術への関心・意欲・態度】
- ・用途に応じた食品の選び方について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。
【生活を工夫し創造する能力】
- ・食品を選ぶために必要な情報を収集・整理することができる。
【生活の技能】
- ・食品の選び方について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。
【生活や技術についての知識・理解】

3 題材の評価規準

生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
食品の選び方について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。	用途に応じた食品の選び方について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。	食品を選ぶために必要な情報を収集・整理することができる。	食品の選び方について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。

4 学習の基盤

(1) 題材観

本題材は、日常多く用いられている食品の品質を外見や表示などから見分けることができるようになるとともに、目的、量、栄養、価格、調理の能率等を考慮して、用途に応じた選択ができるようになることをねらいとしている。

食に関する様々な問題（偽装表示、輸入食品の残留農薬、衛生管理の不徹底、食物自給率の低下、TPP問題）が渦巻く今の世の中では、生徒一人ひとりが食への関心を高めるとともに、自ら判断して食品を選択し、よりよい食生活を送るための実践力を身に付けることが重要と考えて本題材を設定した。

(2) 生徒観

省略

(3) 指導観

食品を選ぶときには、その食品の品質を知り、目的に合った適切ものを選ぶことが大切である。指導に当たっては、まず、外観、表示、マークから必要な情報を読み取って整理する活動を行い、食品の品質を見分ける力を付けさせる。そのうえで、目的、量、栄養、価格、調理の能率などの諸条件を考えて、自分で判断して適切な選択をしようとする態度を育てたい。

本時では、実生活との関連を図って、生徒に身近な食品を取り上げ、今後の実生活の中で体験する可能性のある状況を設定した。目的、量、栄養、価格、調理の能率、保存方法、食物アレルギーなどの観点を考慮せざるを得ない想定家族や場面を設定した。家族という設定をすることで、家族への配慮という視点を盛り込むことができると考えた。

また、多様な意見や価値観に触れることで、食品の選択についてより深く考えられると考え、話し合い活動を取り入れる。考えることが難しい生徒にはヒントカードを、話し合い活動の際には、補助カード（話し合う時のポイントや発言の仕方を記載したもの）を、発表の際には、自分の意思を示すジャッジカードを準備し、充実した話し合い活動ができるように支援する。

本題材の学習後には、ポテトサラダの調理実習を計画しており、本題材の学習を踏まえて、数種類のハムやソーセージの中から使用する材料を実際を選んで調理する予定である。

本題材を通して、生徒が食品の選択に必要な知識・技術を活用し、考えて食品を選択する力を身に付け、より豊かで安全な食生活を送ろうとする態度が育まれるよう指導していきたい。

5 指導と評価の計画（全4時間）

時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法			
		生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術について の知識・理解
1	○生鮮食品の特徴と品質の見分け方を知る。 ・生鮮食品の特徴、食品の旬についてまとめる。 ・生鮮食品の品質の見分け方をまとめる。				生鮮食品の特徴と品質の見分け方を理解している。 【ワークシート】
2	○加工食品の特徴と食品添加物の役割や安全性について知る。 ・加工食品の種類と特徴をまとめる。 ・食品添加物の役割や安全性についてまとめる。				加工食品の特徴と食品添加物の役割や安全性について理解している。 【ワークシート】
3	○食品を選ぶ観点や表示やマークの意味を知り、食品の選択に必要な情報を収集・整理することができる。 ・食品を選ぶ観点を考える。 ・集めた食品の表示やマークを集め、意味をまとめる。 ・食品の選択に必要な情報を収集・整理する。			食品の選択に必要な情報を収集・整理することができる。 【ワークシート】	食品を選ぶ観点や表示やマークの意味を理解している。 【ワークシート】
4 (本時)	○用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。食品の選び方について、関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。 ・収集・整理した情報を活用して、用途に応じた食品を選ぶ。 ・選んだ食品と選んだ理由を話し合う。 ・食品を選ぶ時に気をつけたことや食生活をよりよくするために実践していきたいことをまとめる。	食品の選び方について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。 【ワークシート】	用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。 【ワークシート】		

6 本時の学習

(1) 本時のねらい (4 / 4時間)

- ・用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫する。

【生活を工夫し、創造する能力】

- ・食品の選択について、関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとする。

【生活や技術への関心・意欲・態度】

(2) 本時の展開

学習活動	教師の支援	評価規準・評価方法
<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <p>2 本時のめあてを知る。 用途に応じて食品を選ぼう</p> <p>3 加工食品A～Dの特徴を確認する。 A：無添加ハム<スライス> B：塩せきハム<ブロック> C：塩せきハム<スライス> D：魚肉ソーセージ</p> <p>4 次の場面・家族でA～Dのどの食品を選ぶか考える。 <ワーク① (個人作業) > 中学1年生Aさんが夕食でポテトサラダを作る。 ・Aさん (中1、ハムやソーセージが大好きで毎日でも食べても飽きない) ・父 (42歳、血圧が高め、最近太りやすくなったことを気にしている) ・母 (40歳、そばアレルギーがある) ・弟 (小5、サッカークラブに加入し、毎日遅くまで練習している) ・祖母 (68歳、最近膝が痛くて買い物などになかなか行けない)</p> <p>5 選んだ食品と選んだ理由をグループで発表し合う。 ・安いから ・食品添加物が少ないから ・アレルギー物質が入っていないから ・塩分が少ないから ・エネルギーが低い (高い) から ・長期保存がきくから ・好きな大きさに切れるから ・育ち盛りだから 等々</p> <p>6 話し合ったことを参考にして、選んだ食品を再検討する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食品を選ぶ観点について確認する。 ・前時に整理したA～Dの特徴をペアで発表し合う。 ・新たに気付いたことや参考になる意見があればワークシートに書き加えさせる。 ・作業が進まない生徒には、状況のより細かな説明をしたり、例を示したりする。 ・新しい考えや参考になる意見があればメモをするように指示する。 ・話し合い補助カードやジャッジカードを用いて意見が活発に出るようにする。 ・個々の選択の工夫を認める。 	<p>用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を</p>

<p>7 次の場面でA～Dのどの食品を選ぶか考える。 <ワーク②（全体作業）> 来週の土曜日（12月20日）に親戚が集まってクリスマスパーティーを行い、ポテトサラダを作る。 ・参加者はワーク①の家族に3歳の幼児から80歳の高齢者までの親戚を含めて15人 ・初めて会う人もいる</p> <p>8 グループでA～Dのどの食品を選ぶか考えを発表し合う。</p> <p>9 グループで出した意見を全体で共有する。</p> <p>10 今後、食品を選ぶときに気を付けたいことや食生活をよりよくするために実践していきたいことをまとめる。 ・値段だけでなく、品質などもしっかり確認して選びたい。 ・食品以外の買い物をする時にも表示等を見て選ぶようにする。 等々</p>	<p>・個々の選択の工夫を認め、今後の食生活に生かすよう助言する。</p> <p>・食品を購入する際には、表示などを見て品質を確かめ、用途に応じて選ぶことの大切さを確認させる。 ・家庭での実践を促す。</p>	<p>活用して考え、工夫している。 【ワークシート】</p> <p>食品の選び方について、関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。 【ワークシート】</p>
---	---	---

※ ペーパーテストについては、ある程度の内容のまとまりごとに実施する。

(3) 本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	概ね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への手立て
創造する能力 生活や工夫し	収集・整理した情報を活用し、価格、量、原材料、栄養成分に加え、調理の工夫や他者（家族やその他の人）の状況等を考慮して、用途に応じて選択をしている。	収集・整理した情報を活用し、価格、量、原材料、栄養成分を考慮して、用途に応じて選択をしている。	教科書を参考にしよう助言し、例を示す。状況のより細かな説明を付加し、友達の例を参考にしよう助言する。
関心・意欲・態度 生活や技術への	学習したことをもとに、これまでの食生活を振り返り、今後、食品を選ぶときに気を付けたいことや、食生活をよりよくするために実践していきたいことを考えている。	学習したことをもとに、今後、食品を選ぶときに気を付けたいことを考えている。	授業の振り返りを促し、食品を選ぶ時にどんなことが大事だったかを思い出すよう助言する。

7 研究の視点

次の①②は、生徒一人一人の考える力を伸ばすのに有効であったか。

①教材開発

- ・目的、量、栄養、価格、調理の能率、保存方法、食物アレルギーなどの観点で検討できるハムやソーセージの表示を開発する。
- ・書き込んだり考えをまとめたりしやすいようにワークシートを工夫する。

②指導方法

- ・話し合い活動を取り入れることで、多様な意見に触れるとともに自分の考えを深めさせる。
- ・ヒントカード、発表補助カード、ジャッジカードを用いて、活発な話し合い活動になるよう支援する。